

ま え が き

放送利用の大学公開講座（放送公開講座）は、本センターが大学及び番組制作放送機関（放送局）と共同して行っている研究開発事業で、放送を利用して行う大学教育の内容・方法等の研究開発、大学教育の開放の促進及び大学における教育方法の改善に資することを目的としている。

本センターでは昭和53年度以来、各大学に依頼して本事業を実施しており、昭和63年度までに、テレビ89科目、ラジオ76科目、合計165科目の講座が実施された。昭和63年度の実施大学は北海道大学、東北大学、新潟大学、金沢大学、信州大学、名古屋大学、大阪大学、広島大学、愛媛大学（四国地区）、熊本大学、琉球大学（沖縄地区）、高岡短期大学の12大学である。

これまで、放送利用の大学公開講座においては種々の調査研究を実施してきたが、本講座の全受講生に対する各大学共通アンケートの結果や放送公開講座シンポジウムの成果等、全実施大学が共通に実施した調査研究の成果についてはセンターの報告書として発表し、個々の大学が単独で取り組んだ調査研究の成果に関しては、その概要の報告を除き、それぞれの大学が個別に発表してきた。

しかし、研究協力の進展とともに、個々の大学が取り組む調査研究に関しても、その成果をより共有しやすい形で発表したいという要望が起こってきた。本報告書はこうした要望に応えるために、これまでに個々の大学が報告書としてまとめられたもののうちから、「学習効果」、「学習の促進」、「授業への活用」の3テーマにかかわる代表的と思われる研究成果を、とりあえずまとめて収録したものである。御活用いただければ幸いである。

なお、収録した報告のうち、前半の3点は広島大学で実施された研究で、そのうち「放送利用による公開講座の学習効果に関する研究－昭和58年度公開講座『家庭と医療－予防と救急を中心とした家庭に必要な医療知識－』について」及び「昭和62年度放送利用の大学公開講座に関する実施報告書／学習効果に関する研究結果／『性を考える』に関する研究」は学習効果に関する研究の、「昭和59年度大学放送教育研究開発番組学習効果に関する研究－『現代社会の社会学』について－」は学習効果及び大学授業へのテレビ番組の活用に関する研究の成果である。

また、後半の3点は熊本大学で実施された研究で、そのうち「昭和60年度放送による熊本大学公開講座における毎回アンケートに関する実施報告書—ラジオ『旅の文化』、テレビ『水と人間』—」は、通信指導を通じた学習の効果的な促進に関する研究であり、「昭和61年度放送利用の大学公開講座に関する調査報告書—『水と人間』（昭和60年度制作）の授業への利用—」は、テレビ番組の大学授業への活用に関する研究の、「昭和62年度放送利用の大学公開講座に関する調査報告書—『くらしの中の法』（昭和62年度制作）—」はラジオ番組の大学授業への活用に関する研究の成果である。

平成元年1月

放送教育開発センター

放送利用の大学公開講座研究会